

平成 23 年度 長崎市立土井首中学校グランドデザイン

【教育の理念】

学校の役割は、家庭に代わって子供を一人前にすることである。思春期以降の子どもは、その自主性を尊重することが望ましいが、生きる力の基礎が身につけていない生徒には、教えること、やらせる（体験させる）ことが大事である。特に、共同生活の技術と掟を教えることは、子どもの欲求に優先する。

【学校教育目標】

「気づく目・感じる心をもち、主体的に行動する生徒の育成」

【目指す学校像】

- 明るく楽しい学校
- 助け合う学校
- 美しい学校

【目指す生徒像】

- 気力に満ちたたくましい生徒
- 目標をもち自ら学ぶ生徒
- 思いやりのある生徒

【目指す教職員像】

- 希望を語る教職員
- 間違いを正す教職員
- 授業力のある教職員

【学校経営の基本方針】

長崎県及び長崎市の基本方針に基づき、生徒や地域の実態と保護者・地域・時代の要請を踏まえ、気づく目・感じる心をもち、主体的に行動する生徒の育成を目指す。

特に、「学力保障」と「社会性の育成」は、学校の果たすべき重要な役割であることを自覚し、生徒の将来を見据えた教育活動を推進する。

そのために教職員は常に謙虚な姿勢で互いに学び合い、教育目標達成を目指して心を一にし、信頼される学校づくりに努める。

【校訓】

「気づく目・感じる心」

自主性・思いやり

(進んで人の役に立とうとする態度)

つきたい力=生きる力

(今年度の重点目標)

体験させる

学力

(家庭学習の習慣)

社会性

(共同生活のルールやマナー、挨拶、返事)

教える

健康・体力

(給食を残さず食べる)

耐性

(勝手な行動を自己抑制する我慢強さ)

鍛える

